

なな

9 月号
vol. 223

「9月23日はテニスの日」
写真…久宝寺緑地テニスクール
(八尾市西久宝寺323)

まちびと 特集

第6回 /
万博は
想像以上だ！

探検

未来の車「空飛ぶ車」



「日本人ファースト！」なんて叫ぶ選考力
を横目に「真逆だなあ」と呟きながら、富
田さんはもらいたての大阪市敬老優待券を

万博は平和だ！

「想像以上！が万博だ」は万博協会のキャ
ッチフレーズ。心配だったんだなあ、評判悪
かったから。というか、批判や疑問とは折り
合っていくもの。万博はそうだったかな。今
回は、8月1日現在で万博に7回行ったとい
う(株)ナイスの富田さん、なんと25回のナイス
薬局の西村さん、2回のゆくとあいの中嶋さ
んに話を聞いた。

使って50円でメトロ舞洲駅東ゲートへ。西
村さんは船やバスなど工夫を凝らして西ゲ
ートへ。中嶋さんはNPO団体の「みんなで
つくるバリアフリーマッププロジェクト」の
一員として集合場所へ、三者三様に向かう。
158国の国旗に迎えられて会場へ。そこは
異空間。さっそく、富田さんはギネスに登録
されたばかりの木製の大家屋根リングに感
動し、ウォーキング開始(この人は歩くのが
主目的らしい)。中嶋さんは、これまた話題の
ユニバーサルトイレ等チェックシートを抱
えて移動する。西村さんは、真っ先にグッズ
ショップでミyakミyak商品を買った。「ど
んどん並ぶから最初に買うのがコツ」。西村
さんは大屋根リングの下で呟いた。「なんだ
ろう、この感じ、ひどく落ち着くんだけど」。
富田さんは「盆踊りみたいな感触かなあ」と
返したが？ともかく、万博は平和だ！

万博はユニバだ！

「並ばない万博」、吉村知事はたしかにそう
言っていたが、どのパビリオンも長蛇の列。

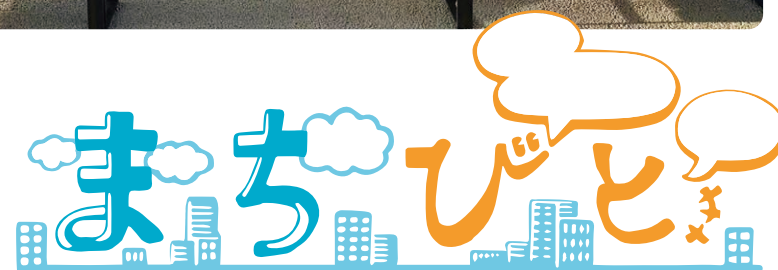


ペットボトルの蓋で作られた
ミyakミyakも見もの

西村さんは、折り畳みイスにハンディファン
など万全の行列対策。粘りの予約挑戦で、超
人気のイタリア館には本国のHPからの予
約に成功したという、猛者。「イタリアにたっ
た2時間で行けるんだから！」。そっか、そう
思ってたみんな並んでるんか。中嶋さんは、障
がい者案内でエスコートされ、ご自身の年齢
と同じぐらいのユニバーサルデザインの歴

第6回

万博は想像以上だ！



西成区北西部地域で住まう・働く
10代～30代の若者たちが、
各地の先進事例から「まちづくり」を学ぶため
地域を飛び出し、街や人を探す旅にでる。
若者たちの視点から見た北西部地域の課題や
各地で行われているまちづくりを探ってみよう。



探してみよう！
コレクターにたまらないレアなマンホール

由来のミニ心臓モデルが、透明な培養槽の中で拍動する様子をライブ展示しており、再生医療の未来と「いのち」の可能性を体感できる。万博はいのちだ！

万博はエッセンシャルだ！

ちょっと目立たないかもしれないが、密かに感動を読んでいるのが赤十字のパビリオン。「人間を救うのは、人間だ」このコンセプトが良い。技術を披露する万博で、最高の技術は人間だという訴え。看護士などエッセンシャルだ！

万博はナイスだ！

さて、主に西村さんが撮影した画像をいくつか紹介しているが、万博も、10月13日(月)まで。万博って何？はそれぞれで味わって欲しいが、富田さんは言う。㈱ナイスを創つ



- 岩巻赤十字病院に掲げられていた赤十字旗 -
すべての人の命は平等であるという根源的なメッセージ

た時の合言葉は、「こんなあったらいいなあ」と「はたらきたいなあ」。万博が終わったら、「ナイスで働こう！ナイスに働こう！」これが合言葉かな？もちろん「ナイス」には、それぞれの人がそれぞれの思いでそれぞれに当てはめればいい。それが万博。万博はナイスだ！

文責…西田吉志

日本からなかなか行きにくい国
「ソマリア連邦共和国」民族衣装に膚！



史を取材した。富田さんは言う。「中嶋さんが生まれた頃からバリアフリーと言われてたし、二十歳の頃にはユニバーサルと言われて、世界はすごく変わった。中嶋さんはその時代を生きたんです。ユニバーサルデザインって、うくん「どこでもドア」かな？

大阪府はYouTubeで、視覚、聴覚、知的の障がい者向けの案内動画を提供しているが、制作に協力したのは、エルチャレンジ。9月14日(日)12時から万博会場内の大阪ヘルスパビリオンステージ「OSAKAから地域共生の未来をつくるプロジェクト」には、エルチャレンジも登壇する。万博はユニバだ！



今や世界級！やっと入れた住友館、この先隠し部屋までたどりつけるかな！

万博はアートだ！

西村さんの万博の楽しみ方の一つがイベントのチェック。ポーランド館のショパンの生演奏にうつとり。マツケンサンバは予約できなかったと残念がってたから、ストライクゾーンは広い。これは宣伝だが、10月7、8日には、㈱ナイスが共同運営する障がい者施設ビッグアイが主催するダンスドラマ『Breakthrough Journey (ブレイクスルー・ジャーニー)「飛躍の旅」という意味』が、万博EXPOホールで上演される。世界的なダンスユニットと障がい者等、多様な背景を

万博はいのちだ！

そう言えば、大阪ヘルスケアパビリオンは評判が良い。テーマは「リボン(生まれ変わる)」。体験ルートでは、25年後の自分のバッテリーに会うことができる。『カラダ測定ポイント』で健康データ(心血管、筋骨格、髪、肌、目、脳)の測定もしてくれる。iPS細胞



万博でしか食べれない
カステラも魅力



店の中はカウンターが約7席。なかなか料理名だけ見てもどんな料理かイメージがつかめないのです、お店の方に質問。牛肉刀削麺と肉まんをおすすめされたので、オーダー。ただここで「とうさくめんください」と筆者が言うのと、「とうさくめん」と笑顔で言われたので、約40年ずっと読み方を間違えていたことに初めて気づいて「そうなんですか」とクールに返したが、心の中では恥ずかしさでいっぱい(後で調べると一応Wikipediaには「とうさくめん」とも読

むと書かれていたが、パソコンで「とうさくめん」と打つと変換はされなかった。)

まずは刀削麺を一口、平べったい麺にしっかりとスープの味がからんで「好吃!」(中国語のおいしい)。うどんでもラーメンでもない不思議な食感でお箸が進む。スープが濃い味なので、器の真ん中にドンと乗った大きめのチンゲン菜が嬉しい。

肉まんも2種類オーダーしており、通常の肉まんも美味しいが、野菜と卵が入った肉まんがあっさりしていて美味しい。こちらもあるという間に食べてしまう。あと2種類ほど中身の違う肉まんがあるそうだが、今日は売り切れていた。ぜひコンプリートしたい。飲み物は中国のレモンティーをチョイス、普段あまりレモンティーは飲まないがめずらしかったので注文すると、これも「好喝!」(中国語では食べ物と飲み物のおいしいはそれぞれ言葉があるそう)。あっさりしているのに、味の濃い刀削麺とちょうどいいバランスだった。なお、中国語に関して筆者は今回

麦香包子舗 長橋店
住所: 西成区長橋二丁目1の38
営業時間: 昼8時~14時30分 夜17時~21時
定休日: 日曜日
電話番号: 090-5161-3346

文責: 笹川勝正

帰路へ。



の原稿を書く際に調べた素人なので、中国語に詳しい方、もし間違いがあったらお許し願いたい。ごちそうさまをしてお店の方に見送られて

にしなりもん

食いだおれの街・大阪ミナミのさらに南の街・西成。
まだまだ発掘されていない「にしなりもん」を味わい尽くします。

グローバルな視点で
料理を考える
「麦香包子舗」

今回取材先を考えた際に偶然だが、取材日前日に大阪万博に行き各国のブースを回る中で、知らなかった文化や民族、観光資源などを知ることができた。さらに取材日当日に仕事で某超有名ダイバーシティ企業に行ったことで、すっかり筆者の考えや視野がグローバルになった。これも運命かと思い、外国料理を食べにいくことに落ち着いた。そこで世界三大料理の一つ、中華料理を選んだのだが、今回は普通の中華ではなく、グローバルな視点から中国を代表する麺料理を食べたいと思い、これまた偶然に筆者の職場近くにできた「刀削麺」のお店を訪問する。

店名は「麦香包子舗」(中国の簡体字は日本の漢字にしています)。のぼりに大きく「刀削麺」と書かれており、夜の街に光る電飾看板に導かれてお店へ。初めて食べる麺料理に期待がはずむ。今年5月にできたばかりの新しいお



[沖田一志] 仕事関係でインスタ、楽天のアカウントの乗っ取り事件に対応。アカウントやメールで、安易なパスワードを使わない、同じパスワードを使い回さないことで防げたのでは? と思った。



[磯拓哉] 8/1(金) 天候に恵まれ北西部の盆踊り大会が開催されました。今年は例年に比べより暑い中での盆踊りでしたがみんな楽しそうに踊っている姿を見ることができて良かったです。



[住友宣夫] 九月といえは夏の終わりのイメージでしたが、今では厳しい暑さが続き、夏の真只中のようなです。年々長引く残暑に、季節の感覚も変わってきていますね。



[笹川勝正] 運動不足解消のためバスケットボールに参加。学生時代以来のゲームで楽しく、テンション上がりましたが、翌日から4日間筋肉痛で苦しみました。

些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。
いいこと思いつくかもしれないし。気がついたら西成
にたどり着いていた、或るオタクのアート系コラム。

光と影のあいだに立つ

私は幼い頃から、絵を描くことも見ることも好きで、絵のコンクールでは、なぜか「さんまの干物」と「教室の風景画」で入賞したことがあります。あまり目立ちたくない私でしたが、その後モクラス旗やTシャツのデザインなど、なにかと出番がありました。職業には選びませんでした。今でも仕事が多忙に忙しくても、チラシや報告書のデザインは楽しみのひとつです。

この「アート」との相性の良さが、ソーシャルワークを含めた今の活動を支えているのだと感じています。

私が好きな画家の一人、クロード・モネ(1840-1926)の連作《積みわら》や《ルーアン大聖堂》は、同じ場所・同じモチーフを、時間や季節、天候や光の加減によって何度も描き分けた作品です。モネが朝の光、夕暮れ、霧の日、雪の日と描き分けたように、私も学校や地域の「昨日と同じように見える」日常の中にある、小さな変化や兆し、希望を見つめて過ごしています。

京都・大山崎のアサヒビール大山崎山荘美術館にあるモネの《睡蓮》は、安藤忠雄設計の「地中の宝宝箱」ギャラリー棟に展示されています。地下であ



りながら自然光がそっと入り込み、キャンパスの上で色がわずかに揺れるように見えるのです。同じ絵なのに、天気や時間で印象が変わる。人の心や生活の揺らぎを、言葉ではなく体験で私に教えてくれる場所です。

もう一人の好きな画家アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック(1864-1901)は1890年代にリトグラフによる多色刷りのポスターを多く制作しました。多色印刷は版ごとに色を重ねるため影の表現が難しく、平面的でくっきりとした色面が好まれました。彼はまた、日本の浮世絵に強く受けています。浮世絵は影のない平面構成と輪郭線が特徴で、ロートレックが浮世絵に惹かれた理由の一つに「影がない」ことがあったのではないかと私は思っています。

身心的障害と差別の中で生きた彼は「見えない存在が見えないままでいることの痛み」を知っていた。だからこそ、バリの夜に生きる踊り子や娼婦、道ばたの労働者たちを、「影」ではなく、「存在」として光の中に置こうとしたのかも知れません。学校や社会の中でも、見えにくい子どもたちは、「あるのにない」ことにされてしまうことがあります。その背景には経済的な困窮や社会的な差別、制度の不平等が深く関わっています。個人の生活の問題は社会や政治の問題と直結しているのです。ロートレックの絵と「The Personal is Political(個人的なことは政治的なこと)」という言葉の意味が私のなかで重なります。

子どもたちの揺れや選択、日々の小さな言葉たちは「些事」という絵の具、社会というキャンパスにのせて、「争論」という作品を、人生をかけて描き続けたい。いつか誰かに託して筆をおくとき、そこにはどんな絵が残っているのか。楽しみです。

ハンブレイ・T



1学期の最後に行われたGCCKidsの夏祭り。色とりどりの浴衣を着た園児たち。年長さんの太鼓で夏祭り、スタート！先生の作ったゲームに加えて、今年はフェイスペイントも。素敵にペイントしてもらい、みんなとっても嬉しそうでした。

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

猛暑とブルーインパルスと
こども神輿

今年で何年連続の参加だろうか。子どもの頃は一切参加せず、大人になって参加するとは夢にも思わなかった。長橋地活協が実施する「こども神輿」である。

出発前にお祓いで神輿と地域の安全を祈願する。この日もかなりの猛暑日だったので、熱中症には十分気を付けないといけない。参加した子どもたちは様々な熱中症対策グッズを持ち寄り、日傘ではなく「笠」をかぶる子どももいた。

しかしながら猛暑にも負けず、子どもたちは元気である。翌朝には声が枯れるのではないかと、思うほど大きな「わっしょい」が長橋に響き渡っていた。

最後の休憩所である長橋集会所に到着した頃、猛暑の空には万博のブルーインパルスが飛んでいたが、子どもたちより大人の歓声が大きかった気がする。

さて「なび」愛読者のみなさまはお気付きだろうか、去年もこども神輿の記事を掲載している。しかし、筆者も猛暑の中、2時間以上「わっしょい」と叫び続けたので、記事にしたい衝動を抑えることができなかった。ご容赦いただきたい。



【福井龍磨】夏の終わりになると、桑田佳祐の「Lady Luck」(1986)という歌を思い出す。寂しげな曲調が好きなのだが、人気も知名度もなく、ライブで歌われたこともない。忘れ去られた、80年代の落し物。



【西田吉志】9月14日(日)12時から万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンのイベントステージに「エルチャレンジ」のみんなが登壇する。世界に届け未来宣言！僕も家族で応援に！



【谷口円】最近美味しかったもの：ピノのビスターオ味(アイス)。コンビニで先行販売中で、10月から全国で数量限定発売みたいです。きなこと味も数量限定で売ってるらしいので気になる。



【田岡秀朋】神谷さんは日本人ファーストで躍進。この期待感大阪の橋下さん、東京の小池さんと同根か。行儀の悪さすら、自分のために既得権者と闘う姿に映るのかな。

葉っぱの吐見

といき

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



「ドラゴンフルーツの葉っぱ」の巻

Nice to meet you!
はじめまして。

アメリカ カリフォルニア
ロサンゼルス育ちのわたし。
さわやかな風、あおい空。
そんな街でわたしは過ごす。
まいにち太陽、ときたま雨。
そんな街がわたしは大好き。
わたしには棘がある。
それは身をまもるため。
わたしには花がある。
それは果実をつけるため。
みんなに知ってもらいたい。
わたしがどんな形なのか。
みんなに知ってもらいたい。
わたしがどんな味なのか。

赤井まゆみ

ドラゴンフルーツのこと

サボテン科のフルーツ。
果皮の形状が龍の鱗に似ていることから名付けられた。
口当たりはスイカ。味はキウイと梨の間に似てる。
花言葉は「燃える心」と「永遠の星」

い湯かげん

参政党で大阪は変わるか

前回に続いて参院選の感想。参政党に人権問題で「してやられた」。
参政党は、選挙中盤から、前触れなく外国人問題を争点にしてきた。「日本人ファースト」を連呼した。なんと、党首自身が「これは選挙の時だけのキャッチコピー」と公言したから、手の込んだ挑発だった。これに、自民から立憲、共産まで「排外主義だ」と応戦してしまっただけ。待ってましたとばかり、参政党は既成政党からのパッシングには屈しないと悲劇のヒーローを演じた。選挙最終日には東京芝公園で3万人の人々から熱狂的な支持を集めた。大阪の反維新の政党がかつて橋下ミツクに引かなかった時と似ていて、愚かだった。結果、挑発に警戒した国民民主や関西限定

で維新が踏みとどまったが、他の党は軒並み打撃を受けた。
「してやったり」と思ってるだろうが、参政党のこの戦術はやつぱり巧妙な排外主義で、禁じ手だったとボクは思う。何故なら、参政党に共感した「現役世代」の本意は「自分も尊重されて」という承認欲求だったからだ。外国人問題は何の関係もなかった。
選挙が終わって、参政党は時の人になったが、参院選の議席は風頼みで、未だ「過性だ」と思う。ただ、この党の党首は、党組織の運営を共産主義に学んだとの論評もあり、党の支部結成や地方議員選挙で自力をつけてきたというから、これから地方選で激突することになるのだろう。では大阪の地方選はどうなるのだろうか。

参政党は参院選で、維新の改革を批判し、教員の給与を元に戻すとか、民営化や行政の効率化も元に戻す、インバウンドも修正する、万博は反対、カジノも反対と主張した。これでは、いままでの反維新側の主張と同じで、独自色に欠ける。総論はあっても各論は勉強中ということなのだろう。そうすると、大阪の地方選では、福祉は日本人優先という「福祉排外主義」が、独自色として際立ってくるかもしれない。まさかとは思うが、党勢に翳りが見える維新、起死回生を狙う自民、大阪進出を狙う玉木さんの国民民主が、福祉排外主義を参政党と競うなどという挑発にはまりはしないか。一抹の不安もよぎる。確かに、特区民泊や公有地の売却など、自由に委ねすぎたから、修正が必要だ。

富田 一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これから「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

公共調達によって市場を規制し、雇用も給与も底上げし、都市の再生にすべてのプレイヤー（外国人も障がい者も若者も含む）を参加させる（大阪府ハートフル条例は「大阪の福祉化」と銘打ったと、旗を振って欲しいと思う。連合が提唱する公契約条例は、地域最賃とは別に、公共調達発注物件の報酬下限額を設定するものだ。給与は「労使」で決めるなら、この下限額は「公と市民」つまり、知事・市長と府市民で決める。また、公有地売却に「まちづくり」の項目を入れる総合評価入札を導入するのも公共調達の改革だ。労働者の連合が「時の氏神様」になるかもしれない。地方からの「政権交代」とも言える。どうだろう、お花畑かな？

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



今年の8月15日に日本は戦後80年を迎えた。焼け野原の状況から目覚ましい復興と発展を遂げた月日でもあった。

先日、体の動く間にも思い広島を訪れ、初めて平和記念公園と原爆資料館に足を運んだ。平日のためだろうか、来館者の7割程度が外国の方々と感じた。展示されている写真や遺品は原爆のすさまじさを伝えており、これらを熱心に見ている外国の方々を見ると「この人達はきっと平和を望んでいる」と思った。

しかし、世界中で今も戦争が起こっている。地球上に暮らす多くの人たちは平和を望んでいるにも関わらず。何故戦争は終わらないのか？ 一部の人間の欲がそうさせるのか？ 名誉やお金。そのために多くの命が失われている。

私たちは世界に平和をもたらすべく、その実現に向けた様々な発信を続けなければならない。
(寺本良弘)



【若松司】万博のバビリオン建設費未払い問題は単なる民間同士のトラブルではない。そのような状況を作り出してきた万博協会や行政はきちんと責任ある行動をとるべき。連日の賑わいで誤魔化してはいけない。



【山村裕太】Youtube チャンネル『THE FIRST TAKE』にオレンジレンジが出演し、代表曲の「花」が披露された。高校生のときはツタヤでCDを借りてMDに入れてたな〜、と懐かしい思い出が蘇りました。

地域の縁を心でつなぐ

松崎い 心の時間

使い、ボウフラを全滅させます。

金子みすゞは「大漁」という詩で「浜の人は大漁を喜ぶけれど、同時に海の魚は悲しんでいる」と詠みましたが、同じようにボウフラの全滅は私には嬉しくても、蚊にとっては悲しいことに違いなく、自分の都合で殺生して生きていることに反省しました。

しかし「自らの悪に気づくときに、それが人間の善となり、悪にどれだけの痛みを感じていくかしか、善はない」という師匠の教えを大切に、そして「地獄に落ちるしかない私(地獄一定)が、阿弥陀仏と出会うことで往生できる(往生一定)」という親鸞の思想を掲げ、所に人間を成就させたいものです。

松向寺 通法

九月に入っても変わらず庭で

発生する大量の蚊に悩まされ、朝一番に蚊取り線香を出入口に設置します。蚊取り線香は、現在色々なメーカーから販売されていますが、元々は一八九〇(明治二十二年)に「金鳥」創業者の上山英一郎氏が発明されたものだそうです。また、水が溜まりやすい場所に発生したボウフラを見つけると、市販の殺虫剤を

写真は人生の一部が映ったもの。

ここは思い出や自慢の一枚を少しご紹介するコーナーです。



ウタリ の1枚

📷『2014年10月、長崎市大波止』

五島列島からの旅の帰り、長崎港の近くに宿を取った。街は諏訪神社の秋の例大祭「長崎くんち」の真っ最中で、月夜の大通りは人と光の洪水。歩きながら適当に写真を撮った。ただ通り過ぎただけなのだが、なぜか強く印象に残っている風景。ここに写っている人たちは、今どこで何をしているだろうか。(編集スタッフ 福井龍磨)



にしなり隣保館「スマイル ゆーとあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび9月号(vol.223)
発行日:2025年9月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:西田吉志
編集:磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、
田岡秀朋、福井龍磨、山村裕太、若松司(あい
うえお順)
イラスト:hidarimaki、西井亜花梨
デザイン:谷口円

(株)ナイス
ホームページ

